

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	湘南地域農業改良普及センター
31		
※記入不要		
要望問題 水稻有望品種の選定とそれに伴う現地実証試験の実施について		
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】		
<p>県の奨励品種となっている水稻キヌヒカリは、ここ数年、品質の低下が著しい。その要因のひとつに登熟期間の高温が言われているが、気象条件だけではなく、栽培技術や品種の問題も考えられる。</p> <p>そのため、キヌヒカリにかわる良品質、良食味の有望品種の選定を急いでいただきたい。</p> <p>また、所内の試験で有望とされた品種については、品種を絞り込んだ上で、現地での適応性等が評価できるような規模により速やかに現地での実証試験を行っていただきたい。</p>		
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内	
研究対応区分	①研究所対応 ②委託研究 ③共同研究 ④その他	
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場） ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所（⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場） ⑨自然環境保全センター	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部 署	生物資源部
対応区分	①実施 ② 実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名	<p>(①、②、④の場合)</p> <p>新品種系統適応性検定試験</p> <p>(1) 奨励品種決定基本調査・普及事業(S29～)</p> <p>ア 奨励品種決定調査事業(S29～)</p>
対応の内容等	<p>水稻奨励品種の選定については上記研究課題により、実施中です。</p> <p>本年度は、新品種・系統および全国的に普及している品種についても供試し、本県の適応性を調査しています。一方、昨年までの結果で有望と認めれる系統（関東209号）について、県内6カ所で現地試験も併せて行い、県内各地の地域適応性を検討しています。貴管内においても平塚市および伊勢原市の2カ所で5～10アール規模の試験を行っておりますので、現地における評価につきましては、御協力をお願いいたします。</p>
解決予定年限	①1年以内 ② 2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備 考	